

令和7年入込観光客総評

令和8年6月 箱根町

■ 総括

令和7年は、物価高騰などの影響を受け、国内観光客数は前年とほぼ横ばいで推移した。一方で、インバウンド需要が引き続き好調であったことから、全体の観光需要を押し上げ、年間の入込観光客数は前年から812千人増加し、21,122千人となった。

■ 入込観光客数

21,122千人（前年比104.0% 812千人の増）

〔内訳〕

- ・宿泊客：4,148千人（前年比104.1% 164千人の増）
- ・日帰り客：16,974千人（前年比104.0% 648千人の増）

1 宿泊客について

(1) 施設形態別

旅館・ホテルは3,732千人（前年比104.2% 150千人の増）、寮・保養所は378千人（前年比104.9% 18千人の増）、民宿・国民宿舎・ユースホステル・民泊は12千人（前年比98.3% 1千人の減）、ペンション・キャンプ場・コテージは26千人（前年比89.2% 3千人の減）となり、宿泊客数は前年を上回った。

〔内訳〕

物価高騰や猛暑による出控えの影響が見られたものの、日本人観光客は前年とほぼ横ばいで推移した。一方、外国人観光客については、円安による訪日需要の継続により、前年を大きく上回った。

- ・一般客：3,491千人（前年比100.8% 28千人の増）
- ・外国人観光客：629千人（前年比127.6% 136千人の増）
- ・修学旅行客：28千人（前年比95.8% 1千人の減）

(2) 月別

閑散期とされる2月や6月は、インバウンド需要の好調を背景に前年を上回った。特に行楽シーズンのピークとなる11月は、前年を上回り、例年どおり年間で最も多い入込客数となった。

2 日帰り客について

日帰り客については、コロナ禍前の水準を上回る結果となった。公共交通機関の乗車パスの利用が好調であったことに加え、宿泊客と同様に外国人観光客の増加を背景として、前年を上回る結果となった。

3 月別入込状況について

【1月】

年始は、箱根神社への初詣や箱根駅伝の観戦を目的とした国内観光客で賑わいを見せた。1月後半には旧正月の影響もあり、韓国、中国、台湾などアジア圏を中心とした外国人観光客の姿が見られた。

【2月】

例年見られる降雪等の大きな影響もなく、全体を通して天候に恵まれたことから、春休みに入った学生層や外国人観光客を中心に一定の来訪が見られた。

【3月】

春休みシーズンに伴う学生グループの来訪に加え、桜の季節に入ったことによる外国人観光客の訪日需要の高まりもあり、町内各所で賑わいが見られた。

【4月】

春休みシーズン終了後は、国内旅行需要が落ち着く時期であるものの、桜を目的とした訪日需要が高まり、外国人観光客の来訪が多く見られた月となった。

【5月】

国内観光客について、ゴールデンウィーク期間中の賑わいが見られたほか、連休明けには依然として続く物価高騰等の影響も一部見受けられた。一方で、外国人観光客は、引き続き好調に推移しており、全体として安定した観光需要が維持された。

【6月】

関東地方が梅雨入りしたものの、外国人観光客を中心に一定の来訪が見られた。気象庁によると、最も高い6月平均気温となるなど、厳しい暑さとなったが、前年を上回る水準を維持した。

【7月】

厳しい暑さが続く中、芦ノ湖夏まつりウィークなどの町内イベントも開催され、夏休みシーズンに向けた来訪が見られた。一方で、猛暑による出控えに加え、「7月5日に日本で大災害が起きる」という噂の拡散や、大阪・関西万博の開催を背景に、関西方面への旅行需要が高まったとの声も聞かれ、宿泊需要にはやや落ち着いた動きも見られた。こうした中でも、外国人観光客については欧米豪を中心に堅調に推移したほか、日帰り利用は前年を上回る状況となった。

【8月】

本格的な夏休みシーズンを迎え、町内は多くの観光客で賑わった。連日の猛暑が続いたものの、お盆期間中には近年見られた台風の影響もなく、天候に恵まれたことから、夏季需要を維持することができた。外国人観光客についても引き続き好調に推移した。

【9月】

台風15号の影響により月前半は伸び悩んだ期間があったものの、外国人観光客の好調な来訪が全体を牽引し、月間を通じて安定した集客となった。

【10月】

秋の行楽シーズンを迎え、特に仙石原すすき草原が見頃を迎えたことから、多くの観光客で賑わった。天候にも恵まれた日が多く、町内各所で観光需要の高まりがみられた。

【11月】

行楽のトップシーズンを迎え、紅葉に加え、ススキの見頃が例年より長く続いたことから、町内は年間を通じて最も多くの観光客で賑わった。外国人観光客についても、欧米豪を中心に紅葉シーズンの高い訪日需要が続き、依然として多くの来訪が見られた。なお、中国政府による渡航に関する注意喚起の影響が懸念されたものの、本町において大きな影響は見受けられなかった。

【12月】

行楽シーズンのピークが落ち着いたことから、国内観光客数は前月から減少傾向となったものの、インバウンド需要は引き続き好調であり、安定した来訪状況が見られた。

※ 最大入込月について

最大の入込があったのは、仙石原すすき草原及び紅葉が見頃を迎えた11月であり、次いで、夏休みシーズンで賑わいを見せた8月となった。

令和7年 月別入込観光客数一覧

(単位：人)

施設区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	対前年比
旅館・ホテル	273,590	260,620	348,853	323,476	312,387	258,013	275,363	359,271	287,806	344,551	358,424	329,194	3,731,548	104.2%
(内数：一般客)	235,036	226,379	297,564	242,508	249,468	211,217	229,619	315,855	238,238	265,175	292,253	279,806	3,083,118	100.5%
(内数：外国人客)	38,422	33,841	50,294	76,760	60,060	43,800	43,148	40,264	47,252	75,579	62,769	48,959	621,148	127.9%
(内数：修学旅行者)	132	400	995	4,208	2,859	2,996	2,596	3,152	2,316	3,797	3,402	429	27,282	95.8%
民宿・国民宿舎 ユースホステル・民泊	791	784	1,217	1,255	1,106	749	828	1,241	914	1,192	1,123	934	12,134	98.3%
(内数：外国人客)	366	426	682	873	662	438	579	602	523	708	522	396	6,777	112.3%
ペンション	81	71	144	57	90	45	50	103	48	74	128	84	975	69.4%
キャンプ場・コテージ	736	948	2,134	1,580	2,790	1,251	1,744	4,924	2,760	2,073	2,565	1,575	25,080	90.2%
(内数：外国人客)	25	29	67	58	125	75	63	124	57	116	158	31	928	83.1%
(内数：修学旅行者)	0	0	0	47	116	0	0	0	172	0	0	0	335	98.5%
寮・保養所	26,380	22,254	33,036	30,101	31,652	26,624	30,335	44,184	28,245	33,340	36,971	35,153	378,275	104.9%
宿泊客計	301,578	284,677	385,384	356,469	348,025	286,682	308,320	409,723	319,773	381,230	399,211	366,940	4,148,012	104.1%
(内数：外国人客)	38,813	34,296	51,043	77,691	60,847	44,313	43,790	40,990	47,832	76,403	63,449	49,386	628,853	127.6%
(内数：修学旅行者)	132	400	995	4,255	2,975	2,996	2,596	3,152	2,488	3,797	3,402	429	27,617	95.8%
日帰客	1,162,718	984,491	1,413,933	1,512,382	1,522,567	1,310,392	1,337,550	1,559,909	1,342,642	1,583,673	1,838,285	1,405,446	16,973,988	104.0%
観光客総数	1,464,296	1,269,168	1,799,317	1,868,851	1,870,592	1,597,074	1,645,870	1,969,632	1,662,415	1,964,903	2,237,496	1,772,386	21,122,000	104.0%

過去10年間の観光客の推移

(1) 宿泊客数

年	宿泊客数(人)	対前年比	対前年増減(人)
平成28年	4,338,824	118.4%	673,593
平成29年	4,693,513	108.2%	354,689
平成30年	4,525,879	96.4%	△ 167,634
令和元年	4,296,727	94.9%	△ 229,152
令和2年	2,788,706	64.9%	△ 1,508,021
令和3年	2,540,991	91.1%	△ 247,715
令和4年	3,450,000	135.8%	909,009
令和5年	3,938,000	114.1%	488,000
令和6年	3,984,390	101.2%	46,390
令和7年	4,148,012	104.1%	163,622

※対平成30年比 91.7% △ 377,867

(2) 日帰客数

年	日帰客数(人)	対前年比	対前年増減比(人)
平成28年	15,226,176	111.1%	1,515,407
平成29年	16,826,487	110.5%	1,600,311
平成30年	16,734,121	99.5%	△ 92,366
令和元年	14,663,273	87.6%	△ 2,070,848
令和2年	9,781,294	66.7%	△ 4,881,979
令和3年	10,959,009	112.0%	1,177,715
令和4年	13,910,000	126.9%	2,950,991
令和5年	15,572,000	111.9%	1,662,000
令和6年	16,325,610	104.8%	753,610
令和7年	16,973,988	104.0%	648,378

※対平成30年比 101.4% 239,867

(3) 観光客総数

年	観光客総数(人)	対前年比	対前年増減比(人)
平成28年	19,565,000	112.6%	2,189,000
平成29年	21,520,000	110.0%	1,955,000
平成30年	21,260,000	98.8%	△ 260,000
令和元年	18,960,000	89.2%	△ 2,300,000
令和2年	12,570,000	66.3%	△ 6,390,000
令和3年	13,500,000	107.4%	930,000
令和4年	17,360,000	128.6%	3,860,000
令和5年	19,510,000	112.4%	2,150,000
令和6年	20,310,000	104.1%	800,000
令和7年	21,122,000	104.0%	812,000

※対平成30年比 99.4% △ 138,000